

(別紙)

「京丹後市観光振興計画」に対する意見とそれに対する市の考え方

(敬称等は略)

項目	意見要旨	考え方
配布対象者と文章表記について	計画書を一般市民へ配布されるのであれば、文章表記は平易にすることが望ましく、外来語等は日本語表記にすることが望ましい。外来語表記が多すぎて、意味不明瞭の文が散見されます。	計画書は、観光関係者を中心に配布する予定ですが、一般市民へ理解を広める必要もあるため、外来語、専門用語については、用語説明を付け加えることとします。
観光推進と観光振興の違いについて	観光推進と観光振興の2通りの表記が示されており、意味が不明瞭である。どちらの表記が適切なのでしょう。	本計画では「観光を盛んにする」の意で、前後に語句が接続しない場合「観光振興」の表記を使用しています。なお、「京丹後市観光立市推進条例」は、「観光立市をおし進める」という意味で「推進」を使用しています。
新たな観光資源の発掘調査・計画立案について	新たな観光資源の発掘による観光事例がほとんど示されていません。なぜ、新たな観光資源の発掘を最重要課題にして、計画立案しないのでしょうか。今ある観光資源を推進するだけでなく、新たな観光資源をも掘り起こして地域振興に寄与することが大切です。	本市には、自然、温泉、味覚、歴史、文化などにおいて、すでにすばらしい資源が市域全体にわたり存在します。しかし、これら恵まれた観光資源を十分に活かされていない状況があるため、本計画では、これらの有効な活用と発信が最重要課題であると位置づけています。なお、新たな観光資源を発掘することは重要であり、今後の取り組みにおいては、そのような視点も大事にしたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
問題分析方法と結果について	問題分析の方法と結果の説明が不十分です。どのような方法で問題分析されたのでしょうか。「課題整理」では、一般論にすぎず、なぜ、問題分析を軽視したのでしょうか。	問題分析については、検討委員会においてテーマ毎に行いましたが、「課題整理」における言及が不十分であったため、検討委員会等で出された課題を、同項目の中で詳細に記述します。
将来ビジョンの不明瞭さについて	将来ビジョンのコンセプトがあいまいで漠然としており、人々をひきつけるインパクトに欠ける。集中と選択により、観光振興の焦点を絞ることが必要です。京丹後のシンボルは「海の極楽園」であり、食べてよし、観てよし、泊まってよしだと考えられます。	この点については、検討委員会においてもさまざまな提案があり、議論したところ。「焦点を絞る」という視点は重要であると考えますが、本市の特徴は、全国でもまれな、多様で質が高いふるさとの魅力が、市域全体に存在することにあります。また、最近では、個々の趣向、ニーズに応じて、ありのままの自然、街並み、暮らしなどを体験する、地域そのものが資源となる観光が求められているため、あえて焦点を絞らず、「極上のふるさと観光づくり」というコンセプトで

		まとめたものです。ご理解をいただきますようお願いいたします。
目標値の積算根拠について	年間観光入込客数等の目標値は、何を根拠に積算されたものでしょうか。根拠のない期待値では不明瞭です。	設定値の根拠、説明を追記します。
基本方針の優先順位について	基本方針（アクションプランメニュー）の優先順位はどうなっているのでしょうか。ただ単に何でもやりますでは、実現可能性が低いと考えられます。	本計画を実施していく上で、京丹後市観光立市推進会議において計画推進のあり方を協議します。具体的には、関係する団体での取り組み状況、事業計画等を踏まえ、優先順位を設けながら実行することとしております。
アクションプランメニューの内容について	京丹後市には、全国的にもめずらしいヤマアジサイが発見されているので、プラン NO. 12 に「ヤマアジサイも地域で育て販売する」を追加してはどうか。	プラン NO. 12 では「フクジュソウなどを…」としていますので、表記は変更せず、そのまま考えておりますが、ヤマアジサイについても、地域での取り組みが進められるようであれば計画に位置づけたいと思います。
	「メイン近くにKTRの駅増設を要望する」をプランとして追加してはどうか。	峰山町のショッピングセンター・メイン付近に駅を増設することについては、市としても検討を行っておりますが、立地上、観光振興への効果は低いと思われるので、メニューへの記載は控えたいと考えております。ご理解いただきますようお願いいたします。
	プラン NO. 116 「T-WAVE」の観光への活用に「エコ（ツーリズム）、ヘルス（ツーリズム）、グリーン（ツーリズム）などツーリズムに開放する」を追加してはどうか。	ご意見は、市情報交流サイト「T-WAVE」を、具体的なツーリズム（観光）情報、イベント情報に最大限活用することだと思いますが、表記としては、そのような内容も総括して「観光情報の発信、宿・観光業者等のPRに活用する」としてしておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
	プラン NO. 123 「観光ボランティアの充実、派遣体制の整備」に「ネイチャーガイド養成講座、エコツアーガイド養成講座修了者の活用」を追加してはどうか。	ご意見の趣旨を踏まえ、本市に該当する「丹後ふるさと検定合格者、ネイチャーガイド養成講座修了者等の活用」を追加します
	基本方針5の②「人材の育成」へ「ガイド養成講座の開催」を追加してはどうか。	ご意見を踏まえ、プラン NO. 129 を変更します。

意見に基づき、案は以下の内容に修正いたしました。

京丹後市観光振興計画案（別添）